



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



同居の家族の体調不良でも登校を控えるようお願いいたします
教職員も同様の対応をすることにご理解をお願いいたします

5つの行動目標
人との距離をしっかりと確保

緊急事態宣言は今月20日までが期限となっています。陽性の判明者は一時に比べて減少しており、福岡県での延長について議論されていないようです。とは言え、小中学生の感染は続いていることから油断せずに取り組みたいと思います。

さて、小学生の感染についてはほとんどすべてが家族内感染であることから、これまで何度か家庭内の予防と登校判断についてお願いをしてきました。そのうち、

登校判断については、現在「同居家族が発熱等の体調不良の場合、出席停止とする」となっています。例えば、妹の具合が悪くて欠席するときには、お兄ちゃんも登校を見合わせる、ということです。もしかして…の場合、両方のクラスで集団感染を引き起こす可能性があるからです。また、この基準は教職員にも適用されます。同居家族が体調不良になった場合、教職員も自宅待機となるので、急遽担任が不在になることも考えられます。これも集団感染の予防措置です。ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、最近、発熱等で通院したらその場でPCR検査をするケースが増えてきています。これも以前からお願いしているように「PCR検査を受けるようになったらすぐに学校に連絡」してください。教育委員会コロナ対策本部に至急報告するよう求められているからです。結果報告では間に合いません。よろしくお願いいたします。

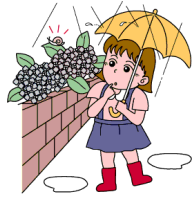
雨の季節を学びの機会に…

今週は夏の暑さを感じさせる好天が続きましたが、週末からはまた梅雨空が戻りそうです。

土砂災害が懸念されることもあり、どうしても雨が降るとマイナスのイメージに結びつけてしまいがちですが、雨の季節に子どもたちが学ぶことはたくさんあると思います。例えば、雨に濡れない工夫をすること、雨の日なりの楽しみ方を考えること、などです。

本校の子どもたちは、ピロティの手前で傘をたたんで水を落とし、ひもでまとめるよう指導しています。1年生もできるようになってきています。これも、生活ルールの「学び」と言えます。また、休み時間には図書室で読書を楽しんだり、雨天用室内ゲームに興じたりする姿が見られます。運動場で遊べなくても楽しみ方を見つけているな、と感じます。

なお、雨天時に濡れないためか車で送ってこられる方がいますが、何度もお願いしている通り、校内への乗り入れは厳にお慎みください。校内での交通事故は、取り返しがつかないことになります。



家庭訪問に代わる
「オンライン面談」

緊急事態宣言延長により、6月上旬に予定していた「家庭訪問」が実施できなくなりました。そこで、当初計画していた代替案「電話連絡」に加え、2～6年生に配布できているタブレット端末を使った「オンライン面談」にも取り組みました。

これは、オンライン上で担任が設定した「会議」に、面談予定の各ご家庭から「参加の申し込み」をして、時間になると担任が「承認」して面談を始めるといった仕組みです。一部不具合が出てご迷惑をおかけしたご家庭もありましたが、「顔を見て話せるので互いに気持ちが伝わりやすかったように感じる」「今後、オンライン授業をするようになってからも安心できた」という好意的なご意見を多数いただきました。本当にありがとうございました。

「オンライン面談」「電話連絡」ありがとうございました

